

わけわけ

父・母

「ひな、あかりとこなつとわけわけするんだよ。」

私が二歳になる前には私はもう妹がいた。そして三歳の時には二人のお姉ちゃんになっていた。何をするにも三人。おやつを食べる時、何か贈り物を頂いた時、必ず両親は「わけわけしてね。」と言う。三人で分け合え、という意味だ。

幼い頃、それが嫌で祖母からもらったお菓子を一人で食べた。後に残ったのは、幼いながらに感じた虚しさで、妹の顔を思い出すだけだった。残ったお菓子を二人の妹に「わけわけ」すると二人は喜んだ。つられて幼い私も嬉しくなった。そんな記憶が残っている。

物だけでない。優しい心、幸せを「わけわけ」できる魔法の言葉。

そんな素敵な言葉を受け継いだ。

受賞にあたって

高2と中3の妹たちとは未だに「わけわけ」していて、ペットボトルのジュースや一袋に入っているお菓子も3人で均等分けします。そのおかげで3姉妹は本当に仲が良く、部活も同じ陸上部です。3人とも読書好きなのも一緒に、一冊の本を順番に読みます。最初に読んでもすぐに感想を伝えられないのが辛いです。全員が読み終わった後で感動を「わけわけ」しています。